

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 **新** 発達障がい者オンライン・ピアサポート 支援事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 発達障害支援係 電話番号：058-272-1111 (内 2618)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 988 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	988	0	0	0	0	0	0	0	988
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全てのライフステージを通じた発達障がい者支援が求められており、成人期支援のニーズも高まっているが、現状では就労支援が中心になっており、支援の充実及び強化を図る必要がある。

また、同じ悩みを持つ発達障がい者同士やその保護者同士等が集まる場の確保も求められている。加えてコロナ禍では、外出や対人接触に不安を感じやすくなっており、対面以外の方法による相談の受け皿を確保することで支援への繋がりにくさを解消することは重要である。さらにアフターコロナも見据え、成人期における就労に注力した支援からの転換及びDXによる新たな福祉資源の確保を目的として、オンライン・ピアサポート活動を推進するものである。

(2) 事業内容

オンライン・ピアサポート活動、成人期の発達障がい者同士が支え合う場づくりを通じた社会との繋がりの構築、コミュニケーション等に困難さを抱える発達障がい者が安心して参加できるピアサポート活動を実施する。遠方の方や外出に不安のある方が、自宅からピアサポート活動に参加できることで、発達障がい者等の社会性及び生活の質向上を目指す。

<方法>

各圏域発達障がい支援センター（4圏域）にパソコン等を貸出配備し、Zoomを導入する（利用料は県負担）。岐阜圏域（県発達障害者支援センター）は県パソコンで対応する。各センター職員がファシリテーターとして参加し、オンライン・ピアサポート活動を支援する。

（3）県負担・補助率の考え方

<備品> 県 1 / 1

<委託料・使用料> 国 1 / 2（地域生活支援促進事業）、県 1 / 2

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	988	PC（デスクトップ）×4圏域=572 周辺機器（ディスプレイ・無線LAN子機・カメラ）×4圏域=262 諸費用（運搬・初期設定費）4圏域=154
合計	988	

* 委託料及び使用料は「発達障がい家族等支援事業費」にて予算措置する

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

第3期岐阜県障がい者総合支援プラン III 日常生活を支える福祉の充実
1 障がい者の地域生活支援（3）発達障がい児者支援の充実
本人・家族支援の充実 ⑫ピアサポート活動の推進

（2）国・他県の状況

富山県：全ての障がい者が対象 石川県：参集型での実施 愛知県：未実施
静岡県：参集型での実施 三重県：参集型での実施

（3）後年度の財政負担（「発達障がい家族等支援事業費」により賄う）

有 令和5年度以降：委託料 392千円 / 使用料 32千円

（内訳：使用料（Zoomライセンス）年32×4圏域=128千円

通信運搬費（Wifi契約料）月5×12か月×4圏域=264千円

使用料（Zoomライセンス）県発達障害者支援センター分32千円）

（4）事業主体及びその妥当性

県（委託先：各圏域発達障がい支援センター）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度末までに、オンライン・ピアサポート活動を定例化させることにより、成人期における発達障がい者支援の充実及び強化に加え、DXを活用した新たな福祉資源により、発達障がい者等の社会性及び生活の質向上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
						%
① ピアサポート活動 回数	0回			16回	24回	%
② ピアサポート活動 延べ参加人数	0人			80人	120人	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>成人期の発達障がい者支援のニーズが高まっている。また、コミュニケーション等に困難さを抱える発達障がい者が安心して参加できる場が求められている。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>成人期支援は、現状では相談・就労支援に留まっている。発達障がいの様子は多岐に渡り、コミュニケーションや社会性に困難さを抱える人、新型コロナウイルス感染症感染予防のため外出を控えている方など、発達障がい者やその家族が安心して悩みを共有できる場・機会の確保が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>発達障がい者等への相談支援を実施している圏域発達障がい支援センターへ本事業を委託することで、既に係属している相談者へのオンライン・ピアサポート活動への参加を促すとともに、地域に周知し、発達障がい者等が支え合う場づくりを通じた社会との繋がりを推進する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>圏域発達障がい支援センター事業 【障害福祉課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>既に当該センターに相談歴等のある発達障がい者がスムーズに活動に参加できる。</p>